

ベナン国内水面養殖普及プロジェクトの南南協力

弊社では 2010 年 5 月より西アフリカのベナン共和国で内水面養殖普及プロジェクト (Projet de Vulgarisation De l'Aquaculture Continentale en République du Bénin, PROVAC) の運営管理をおこなっている (PROVAC は我が国 ODA による JICA の技術協力プロジェクト)。プロジェクト活動は 3 年目に入っているが、2013 年 3 月このプロジェクトで養成した人材について FAO (国連食糧農業機構) から南南協力の専門家としての派遣が打診された。養殖がまだまだほとんどおこなわれていないギニア共和国における技術研修の講師である。

プロジェクト内で検討した結果、今回イポリット・ウエヌ氏 (48 歳) を派遣することにした。イポリット氏はカウンターパートの中心となって我々とともに中核養殖家の育成や農民間研修を通じての普及活動を推進しており、その能力は十分であると思いつつも初めての経験であり一抹の不安はあった。しかしながら、それはまったくの杞憂であった。

イポリット氏は我々の期待に応え、養殖に期待を寄せる現地農民や一部の既存養殖家を対象とした 12 日間の養殖研修を滞りなく実施し、FAO のご担当者や現地政府から高い評価を得ることができた。まさに、小さい一歩であるが、今後このような活動が継続されることでアフリカにおける養殖の面的な普及が進むものと期待される。

(文責：佐藤、土居)



写真 1. 研修参加者とともに

前列左から 3 番目がイポリット氏、後列右端は今回の研修を企画いただいた FAO の鶴崎様。



写真2. 参加者を前に講義をおこなうイポリット氏



写真3. ナマズの人工授精の実技指導

※本記事はFAOおよびJICAのご担当者の内諾を得ておりますが、弊社によって記載されたものであり、両機関からの公式発信ではありません。